

令和3年1月18日

保護者 様

八幡市立男山中学校
校長 笠原 直文

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を踏まえた学校の対応について

京都府における新型コロナウイルス感染症の感染者急増を受け、令和3年1月13日（水）に新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発出されました。

については、引き続き、感染防止対策を徹底するとともに、本校においても、八幡市教育委員会からの通知を参考に、下記のとおり対応いたします。

記

1 学校教育活動の制限

緊急事態宣言期間中の学校教育活動については、次のとおり一定の制限のもと実施する。

(1) 感染リスクの高い教育活動

各教科等における活動のうち、例えば、次に挙げるような「感染症対策を講じてもなお感染リスクの高い学習活動」は一時的に停止する。

- ア 教科等において、長時間、近距離で対面形式となるグループワークやペアワーク等、近距離で一斉に大きな声で話す活動
- イ 室内で生徒同士が近距離で活動する実験や観察、合唱、管楽器演奏、共同制作、調理実習等。
- ウ 保健体育で生徒が密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動。

(2) 部活動

- ア 本校生徒のみ、原則校内での活動とし、平日・休日ともに2時間以内とする。
- イ 活動前には生徒の健康観察を行い、体調不良等が見られる生徒は参加を見合わせる。
- ウ 活動中等のやむを得ない場合を除いては、登下校時も含めてマスクを着用するとともに、特に部活動終了後は、速やかに下校、帰宅するよう指導する。

(3) その他の活動について

- ア 学年集会等を実施する場合は、身体的距離を1m以上確保するとともに、こまめな換気を実施し、入退場時の密集を回避する。
- イ 学校外の者が参加して行われる校内での活動（発表会、公開授業、PTA行事等）については、参加人数や参加者の範囲を制限した上で実施する。
- ウ 校外での活動は、実施の必要性を十分検討し、実施する場合は、移動時も含めて3密を回避し、不特定多数の人と接触しない活動とする。
- エ 給食の際には、飛沫を飛ばさないよう、机を向かい合わせにしない、大声での会話を控える。配膳係以外は自分の席に座って待つ。手洗い、手指の消毒などを徹底する。

2 感染防止対策の更なる徹底

(1) 生徒への指導

- ア 基本的感染防止対策の徹底
3密の回避、正しい手洗い、咳エチケット(マスクの着用)を徹底する。
- イ 健康観察
生徒（教職員）について、毎日のきめ細やかな健康観察を通じて状況を的確に把握する。

ウ 学校外における行動

不要不急の外出や、マスクをはずした状態での人との接触等は控える。特に、交通機関利用時にはマスクを着用し会話を控える。

(2) 教室等における感染対策

ア 机と机との距離は、可能な限り間隔を空ける。

イ 可能な限り、常時換気に努める。(気温の低下等で常時換気が難しい場合には、30分に1回以上または、休み時間ごとに、窓を全開にし換気する。)

ウ 生徒が下校後、良く手に触れるところ等を中心に毎日消毒を行う。

エ 教室に入室する際には、手洗い、手指の消毒を徹底する。

3 家庭へのお願い

ア 毎朝の健康観察、検温、登校時のマスクの着用をお願いします。

イ 生徒に、体調不良等の症状が見られる場合は、登校を見合わせ自宅で療養してください。

(同居家族に発熱、咳などの症状がある場合にも、登校を控えてください。)

この場合は欠席扱いとせず、出席停止扱いといたします。

ウ 家庭での感染予防対策をお願いします。(手洗い、うがい、手指の消毒、3密・会食を避ける等)

ウ できる限り、不要不急の外出は避けてください。

4 人権上の配慮について

(1) 新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染しうる病気であり、感染者や濃厚接触者、医療従事者や社会機能の維持にあたる方とその家族等に対する偏見・差別・いじめ・SNS等による誹謗中傷は絶対に行わないよう指導を徹底する。

(2) いじめへの不安や家庭環境の変化等による心理的なストレスを抱える生徒の状況を的確に把握し、スクールカウンセラーやまなび・生活アドバイザー、関係機関と連携し、適切に対応する。

5 教職員の勤務等について

緊急事態宣言下においては、事業者等に対し出勤者数の削減などテレワークの徹底等が要請されているが、学校においては、生徒の学びの保障のための執行体制確保を前提として、引き続き、教職員の健康に配慮しつつ、職場における感染防止の取組を更に徹底する。

なお、府民に対し要請されている不要不急の外出自粛（特に20時以降の徹底した不要不急の外出自粛）についても教職員に徹底する。

以上、緊急事態宣言下においても生徒が安心して登校できるよう、学校としてできる限りの感染症対策を行いながら教育活動を進めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。